

【緑地の樹】

シュロ（棕櫚）

プロフィール：ヤシ科シュロ属 の常緑高木

暖かい地方の木という印象があるけれど、今ではどこにでも生えています。地球温暖化で冬の寒さが厳しくなくなり、屋外でも過ごせるようになったのです。緑地でも入り口から始まって斜面にいっぱい生えています。

大きくなると幹回りに繊維が密集して、切り倒そうとしてもものこぎりが壊れてしまいます。

ちょっとうれしくない木なのですが、幹の繊維でたわしを作ったり、葉を使って籠や敷物を作ったりできます。もっと利用すればいいのですね。

（小川）



シュロの葉の籠